

パソコン認定試験が変わった！

○はじめに：パソコン認定試験（正式名称：パーソナルコンピュータ利用技術認定試験）が変わりました。まずその略称からして変わっています。略称「パソコン認定試験」は「PAT認定試験」になっちゃいました。きっとパソコン検定と似ていてよく間違われたからなのでしょう、とは勝手な感想です。とにかく略称が変わっただけでなく、もっといろいろ変わっているのです。

○変更時期：昨年変わりました。試験開催日時的には昨年の7月試験から変わりました。

○区分変更：旧は4級から1級まででしたが、3級、2級、準1級、1級となりました。水準的には旧4が新3、旧3が新2、旧2が準1、で1級はそのままです。

○受験資格：旧では4級以外は全てその下位の級の合格が受験資格として必要でした。新では準1級について前提合格の必要がありません。つまり、3級も2級も受けずにいきなり準1級を受験することができます。もう下位2級はわかっている、いまさらキーボードのキー配置など伝える必要などないって人は準1級から受験しましょう。ただし、2級は3級の、1級は準1級を合格していないと受験できないのは従来どおりです。なお、旧である級を合格していた場合、新で同等の区分の合格と同じに扱われますので旧で合格していたことは無駄にはなりません。

○部分合格：なくなりました。旧で部分合格していた人はその残り部分を受けることができません。新で該当する級を全て受けることとなります。

○各級水準：旧は3級からプログラミングに関する知識を要求されましたが、新は準1級からとなります。

下位2級はビギナー、上位2級はパワーユーザーという感じです。下記にHP掲載の水準を引用します。

認定される利用技術の水準	
3級	パーソナルコンピュータの操作に必要なしくみを理解し、導入されているアプリケーションソフトウェアを適切に使用できるレベルです。職場、学校、家庭などに設置されているパーソナルコンピュータを利用して、仕事の効率を高めたり勉強をより楽しくし、生活を豊かにすることをめざします。
2級	パーソナルコンピュータを新規に導入したり、仕事、趣味などに応じて周辺装置、アプリケーションソフトウェアなどを選択導入して活用できるレベルです。利用上の問題が発生したとき適切な処置によって問題を解決でき、ネットワークの設定などで周りの人の相談に乗れる職場のパソコン通、パソコン大好き中高生、町のパソコン博士、ネットママなどをめざします。
準1級	複数のパーソナルコンピュータが利用されている環境(研究室、事務所、SOHO など)において、パーソナルコンピュータ、LAN およびWAN(広域回線網)の新規導入、運営、管理などができ、必要に応じて、小規模システム開発を行えるレベルです。さまざまな業務の現場でのパーソナルコンピュータおよびネットワークの管理者をめざします。
1級	パーソナルコンピュータネットワークに生じた問題を解決でき、先進的な利用を提案できるレベルです。パーソナルコンピュータ用のアプリケーション開発者、システムインテグレータなどをめざします。

○試験概要：試験は3級から準1級までは選択方式です。選択というと簡単そうですが、選択肢が非常に多いのでしっかりとわかっていないと全然わからないこと請け合いです。また、1級になると記述式、しかも論文記述式になるので長文を書かなくてはなりません。対策本も旧の1級ですが受験問題集がひとつあるきりです、それで勉強してください。あ、英訳もあるので英語も勉強しておくといいですね。

また1級は2年ごと12月、準1級は1年ごと12月、2級3級は半年ごと7、12月開催です。今年は1級試験のある年です。旧2級、新準1級を合格している方、頑張りましょう。

○おわりに：今回の変更の特筆すべき点は、前提条件なしで準1級からの受験が可能となったことです。上位にいきなりチャレンジできますし、技術者向け試験としての定評も高いので、パソコン利用者以上を目指す方には有意義な試験となることでしょう。次回試験は7/10。受付は4/1～5/20です。

参考：パーソナルコンピュータ利用技術認定試験—PAT認定試験HP (<http://pat.pcuu.jp/>)

